



俳句

横山容子 選

一切のもの遠くして蝉しぐれ
オカリナの人恋ふ音色原爆忌

伊藤律子
田坂淳子

頂きし桃の香りを供へけり

高塚フミ子

天空に伸びゆく勢ひ今年竹

加藤泰江

炎天下生簀の鯉の息荒く

森 隆子

空蟬の葉裏に縫り風に揺る

十河多美子

風まかせ雲の流るる今朝の秋

渡部喜生

遙かなる尾根往く白衣山開

三好清信

川柳

平尾 忠文 選

わが脳はまだら模様にあるごとし

加藤泰江

方便の嘘で繕うずる休み

越智幸子

ただいまと孫腹ペコでつまみ食い

越智富美子

打ち明けて打ちあけられて真の友

木原恵美子

生きてます感謝感謝の老い二人

尾崎康流

夏が来たテレビにラジオ甲子園

近藤美鶴

七夕の願う先には母がいる

三好清信

散歩する緑の風が背を押す

神尾 裕子

短歌

藤田 虎雄 選

収穫の実入り確かむ朝明けに つまむ豌豆の
英の冷たし 森田 薫

吾が畑のトマトの傷を指摘する野菜買ふ子の
巖しい点検 森本郁子

梅雨に入り朝より目には見えぬほど霧雨降り
て樹々の喜び 坂根祐子

蒸す朝に遠く轟く雷と夏もたけなわ コラボ
する蝉 伊賀和子

床下が夏の住処か 日に四度鳴き声かけて老
猫帰る 佐伯利枝

乳飲み子を抱けば じじばば頬ゆるみ 触れ
て涼しくなりし手のひら 三好清信

空き箱にボツンと残る説明書 筆筒の上に軽
き思い出 越智幸子

爺ちゃんとなりて孫抱く甥っ子に腕白坊主の
面影残る 高橋容子

■俳句・川柳・短歌 作品募集

作品は、読みやすい書体で作成し、俳句・川柳・短歌の別を書き、漢字にはふりがなを振り、住所・氏名・電話番号を明記し、毎月1日までに郵送または提出してください。

応募先 〒793-8601

明屋敷164 西条市役所

シタイプロモーション推進課 広報係

TEL 0897-52-1204 (直通)

ふるさと産品通信

西条伝統工芸

だんじり彫刻

■問合せ

市庁舎新館2階 産品価値創造課
TEL0897-52-1380



まだまだ暑い日が続きますが、朝夕は涼しくなり、少しずつ秋の気配を感じられるようになってきました。気の早い祭り好きは、もう祭りのことが待ちきれなくなっているところではないでしょうか。

祭りの主役の一つであるだんじりは、前面・側面・後面に物語が描かれた彫刻が施されています。その彫刻は、だんじりそのものといえるほど重要な要素の一つです。



▲彫刻を施す石水さん

石水彫刻所の石水信至さんは、18歳からだんじり彫刻に携わり、38年間、常に技術を磨

き続けています。それは、自分が携わっただんじりが大切にされ、町内の誇りとなり、かき夫に勇ましく担ぎ上げられる様子を見ると本当にうれしく、やりがいを感じる一方、責任も強く感じるからだそうです。

これまでの功績から、えひめ伝統工芸士に認定されているほか、愛媛県知事表彰や地域伝統芸能大賞などを受賞しています。今でも技術を磨くため、各地の祭礼を見て回っているそうです。

石水さんが得意とする題材は、花鳥風月や武者絵などです。木材に下絵を描き、約100種類のノミを使って立体的に彫り上げます。その武者や龍などは躍動感があり、今にも動き出しそうです。

祭りの期間中は、市外・県外からも多くの観光客が訪れます。皆さんも今年の祭りは、改めてだんじり彫刻の素晴らしさを感じてみてはいかがでしょうか。